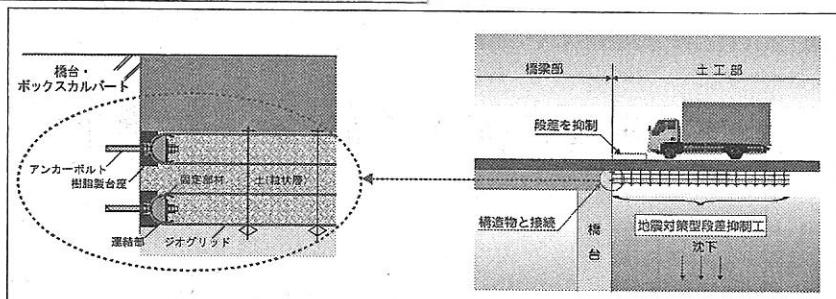


『オリコンサル 減災技術の提案強化 地震時、道路段差を抑制』

日刊建設工業新聞(2012/7/27付)

減災技術の提案強化

オリコンコンサル



橋台・ボックスカルバートとジオグリッドの接続イメージ

オリエンタルコンサルタンツは、減災技術の一
つとして、道路の「地震対策型段差抑制工」の提
案活動を強化する。橋台・ボックスカルバートと、
土工の接続部に、ジオグリッドが追隨し、表面の舗装
が大きく沈下したり割れたりせず、車両通行を確
保できる。同抑制工は、中央大学研究開発機構、
NIPPO、前田工織が開発し、東日本大震災の復旧工事に適用済み。その後の応力解析などを実施して、NIPPOなどが当初開発した同抑制工は、ボックスカルバートの上部
象としたもの。舗装とボ

オリコンサルは、地中盤の分析などを行った。東日本大震災では、被災直後に段差が発生し、車両通行が難しくなった。橋梁が多かった。それを受け、国土交通省は橋台手前の基層に踏み掛け板を設置するなどの対策を講じるよう求めている。ただ古い橋梁や自治体管理の小規模な橋梁については、踏み掛け板が採用されている個所が少ないのが実情。オリコンサルは道路管理者に新しいタイプの抑制工を積極的に提案していく。